# 令和８年度５月定例教育委員会議事録

【日時】
令和８年５月 15 日（金）
開会　午後１時 30 分
閉会　午後３時 00 分

【会場】
辰野町民会館 104 学習室

【出席者】
11 名
（辰野町教育委員会）

| | |
|---|---|
| 教育長 | 宮澤　和徳 |
| 教育長代理 | 飯澤　隆 |
| 教育委員 | 垣内　由佳 |
| 教育委員 | 関　　政彦 |
| 教育委員 | 萩原　多恵子 |

（事務局関係）

| | |
|---|---|
| 学びの支援課長 | 菅沼　隆之 |
| 学校支援課長 | 竹村　智博 |
| 学校支援課長補佐 | 赤羽　徳幸 |
| 学校教育係長 | 唐澤　真也 |
| 教育総務係 | 中沢　大輔 |
| 社会教育係 | 荻野　奈実 |

【傍聴者】
０名

【次第】

１　議事

（１）【非公開】区域外就学について

（２）【非公開】通級指導教室への通級判断について

（３）【非公開】就学の判断について

２　協議

（１）【非公開】学校の様子及び運営上の諸課題

（２）小中学校の今後についての方向

（３）今年度町教育委員会の研修視察

（４）その他

３　報告事項

（１）Ｒ８年度町校長会・教頭会役員構成

（２）上伊那市町村教育委員会連絡協議会研修総会（駒ヶ根市）

（３）その他

○開会

１　開会宣言

２　会期の決定

・会期については１日とする。全員異議なし。

３　議事録の承認

・承認。

４　宮澤教育長挨拶

皆さん、こんにちは。

山々の新緑が大変美しい季節となりました。田植え真っ盛りの田んぼの水面も、陽に照らされて美しく輝いていますし、ツバメも飛び交い、よい季節ではありますが、朝と日中の寒暖差が大変大きくなり、不安定な天気が続いています。今日から週末、来週にかけては、日に日に日中の気温が上昇、来週初めは辰野町でも 30℃を予想しています。今年の夏はどうなるのか、昨年以上の猛暑が予想されていますが心配です。

一昨日は、町内３校の主幹指導主事の学校訪問にご出席いただき、大変ありがとうございました。それにしましても、１日に３校を訪問するということは、大変なことで、１校２時間半程度となってしまいます。その時間の中で、主幹、教育委員、校長との懇談会をやり、施設見学や児童生徒の活動の様子を見たり諸帳簿の確認をしたり、さらには町費教職員との懇談、主幹側は、校長、教頭をはじめ、初任者や教務主任・研究主任などとの懇談も入れるということは、大変忙しい日程です。町内は両小野小も含めて残り２校ですが、終わったところで来年度以降の１日３校に対応した町教育委員会としての方向性を検討したいと思います。

さて、磐越自動車道での部活動移動中の高校生の乗ったマイクロバス事故は、全容がはっきりしませんが、同乗していた高校生が死傷した事実は大変大きいものがあります。とんでもない運転手であったことははっきりしていますが、未だに高校側と運送会社側は互いに責任を擦り付けています。しかし人ひとりが亡くなっていますので、一刻も早く真実を明らかにしてほしいと思います。

この事故から派生する影響は大変大きなものがあり、今後、中学校の部活動や各種大会への引率、輸送にも大きな見直しが求められると思います。保護者がマイクロを出す、先生が運転して輸送するということも今までごく自然に行われているのではないかと思います。

さて、町内小学校では、今月末に予定されている運動会に向けて特別日課が組まれ、練習に気合が入っているところです。一昨日の辰野東小でも、全校児童が校庭に集合し、整列などの練習を行っていました。これから本番さながらの練習も始まります。

教育委員の皆さんも運動会当日は、小学校の輝く姿、精いっぱいの児童の姿をご覧いただければと思います。中学校でも、今月末に行われる１年生の八ヶ岳自然体験・農業体験や、２年生の職場体験、３年生の１日総合と、今月末から来月に向けて行われる中体連、南信総体に向け、やはり全校体制で取り組んでいます。

学びの支援課関係でも、公民館活動、各分館活動が始まっていますし、社会教育や文化、図書館や美術館、荒神山などでも、町民向けの様々な活動、イベント等が動き出していて、大変忙しくなってきています。

中でも、美術館では、今月 30 日からの共同巡回展辰野展、久保貞次郎展は、一般社団法人地域創造が企画している巡回展であり、今回は、栃木県真岡市所蔵の久保コレクションの展示となります。これは、地域創造が、全国から特色ある美術館 4 館を選定し、実行委員会を立ち上げ、４館が地域創造と協働して進める市町村美術館活性化事業の一環であり、大変規模の大きなものです。地域創造から依頼された美術館は、辰野美術館のほかに、岐阜県飛騨市美術館、福井県大野市の COCONO アートプレイス、茨城県筑西市の下館美術館の４館。私も昨年、東京の地域創造に出かけ、会議に参加し、以来、数回、川島学芸員が出席し、詳細を詰めてきたもので、５月 30 日から７月 12 日までの期間で開催予定です。

昨年 11 月には、この４館の館長や学芸員 15 名ほどが来町、一泊二日で打ち合わせをし、とちっ子にて懇親を行いました。本番前日の 29 日にも皆、辰野町に集まり打ち合わせを行い、懇親会も開催して、30 日、開幕式を迎えるというものです。教育委員の皆さんも、ぜひ、この巡回展を鑑賞していただきたいと思います。

さて、今日の定例教育委員会では、議事として、通級指導教室への通級判断、就学の判断、区域外就学の認定、協議では、学校の様子・運営上の諸課題、小中学校のあり方についての今後の進め方、研修視察の件等になります。様々な角度からご意見をいただくことができればと思います。

それではよろしくお願いします。

５　議事

（１）【非公開】区域外就学の認定について

・唐澤学校教育係長より説明。承認。

（２）【非公開】通級指導教室への通級判断について

・教育総務係中沢より説明。承認。

（３）【非公開】就学の判断について

・教育総務係中沢より説明。承認。

６　協議

（１）【非公開】学校の様子及び運営上の諸課題について

・宮澤教育長より説明。
資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「５月校長会資料」を提示。

（２）小中学校の今後について

・宮澤教育長より説明。
資料として「今後の町内小中学校のあり方についての検討について（案）」、「辰野町小中一貫ビジョン（素々案）」を提示。
・４月の教育委員会にて、「町内３小学校は何らかの形で集約（再編）する必要がある」、「集約した小学校と辰野中学校において小中一貫教育を推進していく」という２点が確認されたため、このことについて今後の町教育委員会による検討についてのおおまかな方向を示した。また、今後の進め方として、先生方や子どもたち、保護者の意見をお聞きしながら、丁寧に説明をし、共に考えていくことが大切である。
・提言書の内容については広報たつの８月号に掲載する。
・教育委員の皆さんには、教育ビジョンについては資料を確認していただき、後日意見をいただきたい。

＜Ａ委員＞

広報たつのに掲載するとのことだが、その時点ではすでに先生・生徒の意見は聞き終わっていると思われる。その内容まで載せるわけにはいかないだろうが、段取りをきちんとしているということは周知していくべきではないか。

＜Ｂ委員＞

意見を聞き、教育委員会の考えている方向性と異なる結果が出た場合は、どう対応していくのか。

＜宮澤教育長＞

多数決の問題ではなく、大切なのはその内容。やらなければいけないことはやらないといけない。地域のための学校ではなく、子どもたちの学びの場である学校なんだということを第一に考えて検討していきたい。今の風景ではなく、５年先、10 年先の学校の風景、地域の風景を頭に描かないと間違った方向に進む。

（３）今年度の町教育委員会の研修視察

・今年度は生成 AI について学ぶことができたらと考えている。一番近いところでは山梨県に生成 AI の実践校がある。

＜Ｃ委員＞

生成 AI は便利なところもあり、危険なところもある。何ができて何ができないのか、まだわからないことが多い。

＜宮澤教育長＞

数年後には生成 AI を使った授業が行われていくのではないか。昨年視察した小山田南小学校でも授業で生成 AI を活用していた。

＜Ｄ委員＞

生成 AI は使う人間に忖度した回答をするらしい。それはどうなのか。中高生が使うには危うい面もある。

7　報告事項

（1）町校長会・教頭会役員構成

・宮澤教育長より説明。
資料として「令和８年度　辰野町校長会（教頭会）係分担」を提示。
校長・教頭の各種会議での役割を確認。

（2）上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会（駒ヶ根市）

・宮澤教育長より説明。内容、スケジュールを確認。

（3）その他

・５月 30 日に町内小学校の運動会があるが、教育長は辰野美術館「久保貞次郎コレクション展」の開幕式に出るため、学校支援課長が参加する。

8　閉会